

## テーマ：かたち

### ボディペインティング

絵の具を触ってみて、壁や床に自由にペイントしていく。

#### 活動内容

色を混ぜた時の変化や、指・手のひら・足・体、など使う部分によって色の付き方がどう変わっていくのか、一緒に発見してみる。

#### 子どもの姿からの気付き

- 白い模造紙を貼った壁や床に、色々な色を塗っていく楽しさを共感し、一緒に楽しんでいきました。
- 色が混ざると別の色になることや、指、手のひら、筆など、使ったもので色の付き方がかわることなど、発見したことに共感していきました。
- 子どもの気づきや、その気づきに対してでた言葉をしっかりと拾い、代弁したり一緒に感動したりしていきました。
- 『ここにつけたらどうなる?』など、一緒に体験する中で言葉にしてわかりやすく伝えつつ、発見を共有していきました。

#### 振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- 色を混ぜると別の色に変化するということに気づき、色々な色を混ぜてみて「あれ？茶色になったけど！」と発見したり、床が青くなったのを見て「海みたい」と表現したりする子どもがいたり、様々な言葉で感動を表現する姿がありました。
- 職員が着ていた白いTシャツに色がついていくのを見て、「かわいい」と言ってもっと色を付けてみようとしたり、自分の洋服にも色を付け、「かわいいでしょ」と変化を楽しむ姿がみられました。
- 今後はフィンガーペイントを日常の保育の中で楽しんでいきたいです。



## テーマ：かたち

### 小麦粉粘土

#### 活動① 『かたい』『やわらかい』『おおきい』『ちいさい』に気づく

##### 活動内容

触っていくごとに変わっていく、温度の変化を楽しむ。  
干切ったり丸めたりしてみて、大きさ、形の変化に気づく。



##### 子どもの姿からの気づき

- ・ 2歳児からは『なんか、あったかくなったよ』『ちいさいのたくさんつくったよ』『ぎゅーってやったらおおきくなった！』など、気づいた事を保育者に伝えてくる子どもが多くいました。
- ・ 1歳児は、保育者が目の前で干切ってあげたり、丸めてあげたりすると目を丸くして感動の表情を浮かべたり、指でつぶしてみたら穴が開いたことを喜んで笑ったりする姿がありました。
- ・ 型を出してみると、2歳児は保育者の真似をして上手に型抜きをしてみて、「できたー！おほしさま！」「くるま！」と型抜きが上手にできた事を報告していました。星の形に抜いた粘土を何枚も重ねて『パンケーキ』を作る子どももいて、それぞれで思い思いにあそびを発展させて楽しむ姿が多くありました。1歳児はヘラで切ってみたり、さしてみたりして穴をあけて楽しんだり、粘土を持ち上げ、開いた穴から覗き込んでみたりして喜んでいました。

##### 振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- ・ 冷たくなると柔らかくなって、色々形を変えやすくなった、ということに気づく子どもが多くいました。
- ・ ただ型を抜くだけではなく、型抜きした粘土を組み合わせる形をつくってみたり、逆に切って細くしたり、それぞれが思い思いに形を創造してイメージを膨らませて楽しんでいる様子でした。
- ・ 次回は、実際に目の前で小麦粉粘土を作ってみるところから始めて、『粉』と『水』を組み合わせる粘土になるところを実際に見たときの子どもの気づきをテーマにしていきたいと思います。

## テーマ：かたち

### 小麦粉粘土

#### 活動② 『粉』と『水』 混ぜるとどうなる？

##### 活動内容

『粉』と『水』が混ぜるとどうなっていくのか、発見してみる。  
水の量をゆっくり調節していき、変化を見て、触ってみて楽しむ。  
千切ったり丸めたりしてみて、大きさ、形の変化を楽しむ。



##### 子どもの姿からの気づき

- 2歳児からは「かたまってきた！」「なんか、へんなの！」「おっきーい！」など、粉の形状から変化する小麦粉を見て気づいた事を保育者に伝えてくる姿がありました。
- 1歳児は、保育者が目の前で小麦粉を混ぜている姿を見て、「おおお」と感動の声をあげたり、保育者が丸めた粘土を指でつぶしてみたりし、形状や形の変化に興味を示していました。
- 一部をお月見団子として飾ると、翌日には乾いてヒビが入り、潰れたものもありました。それを見て2歳児から「昨日はまん丸にしたのにー。」という声があがり、「なんで割れちゃったんだろう。」「なんでべしゃんこになったやつがあったんだろう」と一緒に考えていくと、「下のおだんごは、上のおだんご重いよーってなったんじゃない？」「つかれてわれちゃったのかなぁ」など、それぞれ想像した意見をだして、保育者に伝えてくる姿がありました。1歳児は割れたお団子を見て指をさし「あ！」と言って保育者や保護者に発見を伝える姿がありました。

##### 振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- 『粉と水をまぜると固まる』ということを発見し、水の量によって形状が変わっていく事に感動する姿がありました。
- お水が少ないと固い。お水が多いとベトベトになる、など発見が多くとても楽しそうに取り組んでいました。丸めるのは1歳児には難しかったが、保育者と一緒に取り組み、完成すると「できたー」と嬉しそうにする姿がありました。丸め方や手に取った粘土の量によりお団子の形も様々で、「〇〇ちゃんのお団子、おっきいね！」「みて、赤ちゃん団子！」など、大きさの違うお団子を並べて見比べる姿もあり、集中して取り組んでいました。

## テーマ：かたち

### 活動 氷の温度、形がどうなっていくのか、一緒に体験してみる。

#### 活動内容

- 氷を触ってみたり、水の中に入れてみたらどうなっていくのか、発見してみる。
- タライの中に少量の水を入れ、氷を入れて楽しむ。
- 氷の中に玩具を入れておき、溶けると取り出せることを発見。楽しんでいく。



#### 子どもの姿からの気付き

- 「つめたーい！」「イチゴアイスだ(赤い氷を見て)」「シャチさん助けなきゃ！(氷の中のカメの人形を見て)」「(カップに入れて)ジュースです」など、色々な感想、見立てが繰り広げられていました。「どうやってかめさん出すの？」と質問をしてくる子どももいて、「触っていると、氷が小さくなるよ」と伝え、一緒に触って楽しんでいきました。カメの顔が氷から出てきたのを見て「お顔でてきた！」と感動し、“もっと触ったら取り出せるかも”と気づいて頑張る姿もありました。
- 1歳児は、「つめたーい！」と言って冷えた手をほっぺにあてて温めようとしたり、保育者の手を触り、冷たがる保育者の反応を楽しんだりする姿が多く見られました。大きい氷だと形の変化になかなか気づくことができない様子でしたが、あと少しで溶けきるくらい小さい氷を手渡すと、手に置いていくうちに溶けて水になる様子がよくわかり、「なーい1」と言って喜んでいました。

#### 振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- 小さい氷を手を持っていると溶けて“なくなる”という経験に感動する1歳児の姿が多くありました。
- 水に入れてみたり、手で触っていると大きかった氷が少しずつ小さくなっていくことや、最後には姿形が無くなる様子を見て感動したりする姿が見られました。
- 氷が溶けたら水になるということを発見でき、「みずがいっぱいになった」と表現する子どももいて、子どもの感性、捉え方に感心しました。
- 次回は氷を作るところから子どもと一緒にやってみたり、アイス屋さんごっこなど、あそびを発展させていきたいと考えています。

## テーマ：かたち

### 活動 氷の温度、形がどうなっていくのか、一緒に体験してみる。

#### 活動内容

- 色のついた氷を一緒に作り、使って楽しむ  
氷を触ってみたり、水の中に入れてみたらどうなっていくのか、発見してみる。  
氷がどうなっていくのか、一緒に体験してみる。  
色のついた氷を用意して、一緒に楽しむ

#### 子どもの姿からの気づき

- 「つめたーい！」「アイス屋さんでーす」「(カップに入れて)ジュースです」など、色々な感想、見立てが繰り返り広げられていた。色のついた氷をカップに入れ、そこに水を入れると、太陽の光も反射してきれいな色のジュースに見え、それを発見した子どもが声を上げると、ほかの子どもも次々に同じようにあそびはじめ、「アイスジュース屋さん」が繰り返り広げられていきました。
- 1歳児は、2歳児からアイスジュースを譲ってもらい、嬉しそうに手にしていた、コップも冷たくなってくるので、「つめたーい！」と言って喜んでいました。アイスジュースが溶けてくるとジュースだけになり、「こおりなーい」と教えてくる子どももいました。

#### 振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- 色のついた氷を水の中に入れると、水の色が変わると気づく子どもがいました。でもその水をほかのカップに移し替えても透明のまま、という事を不思議がる姿もありました。その氷が溶けきると水自体に色が付き、別のカップに注いでも色が付いていて、そのことに感動する姿がありました。
- 「きれいな色ー！」「ジュースでーす！」と、さまざまな表現で伝えてくる姿がありました。2本のアイスと一緒に溶かすと、別の色になることを発見。感動する姿があり、できた色水同士を混ぜてみるあそびも展開されていきました。
- 前回同様、水に入れてみたり手で触っていると氷が無くなる様子をみて感動したりする姿がありました。



## テーマ：かたち

### 泡を目の前で作り、触ってみて楽しむ。

#### 活動内容

石鹸を入れた水をかき混ぜてみるとどうなるのか、一緒に発見してみる。  
触ってみたり、カップに入れてみたらどうなるのか、観察する。  
目の前で泡を作っていく、かき混ぜるほど形状が変わる泡の様子を一緒に観察する。  
食紅で色を付けるとどうなるのか、観察してみる。  
保育者も一緒に楽しみ、発見を一緒に喜ぶ。



#### 子どもの姿からの気付き

- 2歳児は、かき混ぜるほどに泡が立つと言う事を知り一生懸命かきまぜて泡立ちを楽しむ姿が多くありました。カップに入れて「プリン」を作ったりし、イメージもどんどん広がっていき楽しんでいる様子でした。
- 1歳児は、最初は触ることに躊躇する子どももいたが、友だちが楽しんでいる姿を見て少しずつ慣れ触ってみることができた子どもがいました。手を入れてじっと観察したり、カップに入れてはジャーっとタライに戻したりして楽しんでいます。
- 1歳児がタライに戻し入れているのを見て2歳児も真似して見ていました。ジャーっと流し入れるとそこでもまた泡立ち、その発見に目を輝かせる姿がありました。

#### 振り返り（次回のテーマ、どんな環境設定をするか）

- 石鹸水を混ぜていくと泡が立つ、と言う事を発見し、「もっと泡立てたい！」と頑張って混ぜていこうとする姿がありました。「みて！真っ白になった！」と、水面が全て泡で埋め尽くされた時の喜びを可愛らしく表現する子どももいました。
- 色水と混ぜて泡立てると、泡にもうっすら色が付くが、「なんで泡は白いままなの？」と疑問に感じる子どももいたり、「ちょっとだけピンク」という子どももいたり感想は様々でした。色水と泡が別物に見えた子どもは、カップに入れて「ビールでーす！」という子どももいて、面白いイメージあそびが繰り広げられていました。
- 毎日繰り返して取り入れることで、最初慣れなかった子どもも慣れていき、全員が楽しむことができていたのでよかったです。